

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年6月13日(2022.6.13)

【公開番号】特開2020-192163(P2020-192163A)

【公開日】令和2年12月3日(2020.12.3)

【年通号数】公開・登録公報2020-049

【出願番号】特願2019-100376(P2019-100376)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和4年6月3日(2022.6.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の判定処理で当たりと判定されると、当たり遊技を実行可能な遊技制御手段と、動画を表示可能な表示手段と、

演出図柄の変動表示を伴う変動演出を実行可能な演出制御手段と、を備える遊技機において、

前記演出制御手段は、

前記当たり遊技の実行中に当たり演出を実行可能であり、

前記表示手段にて、第1ブロックと前記第1ブロックの後の第2ブロックとを含む複数のブロックで構成されている特定動画を表示可能であり、

前記変動演出の実行中に前記特定動画を前記第2ブロックの途中で終了して、当該変動演出の後に前記当たり演出を経て前記変動演出が実行された場合に、前記特定動画を前記第2ブロックの開始時点から表示可能であることを特徴とする遊技機。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の遊技機は、

所定の判定処理で当たりと判定されると、当たり遊技を実行可能な遊技制御手段と、動画を表示可能な表示手段と、

演出図柄の変動表示を伴う変動演出を実行可能な演出制御手段と、を備える遊技機において、

前記演出制御手段は、

前記当たり遊技の実行中に当たり演出を実行可能であり、

前記表示手段にて、第1ブロックと前記第1ブロックの後の第2ブロックとを含む複数のブロックで構成されている特定動画を表示可能であり、

前記変動演出の実行中に前記特定動画を前記第2ブロックの途中で終了して、当該変動演出の後に前記当たり演出を経て前記変動演出が実行された場合に、前記特定動画を前記第

40

50

2 ブロックの開始時点から表示可能であることを特徴とする遊技機である。

10

20

30

40

50